



(提供先：坂東市商工観光課)

## 今月の1枚

すがおぬま

# 菅生沼とコハクチョウ

茨城県の南西部に位置する坂東市は、猿島台地に広がる平坦な台地に田・畑が広がり、豊かな自然が多く残るまちです。特に、常総市との間にある菅生沼は、茨城県における有数の白鳥飛来地として有名です。沼には、500種以上の動植物が確認されており、多くの人から“自然の宝庫”として愛されています。これを受け坂東市は、平成27年1月に、菅生沼の貴重な自然環境を次世代へ継承することを目的として、菅生沼自然景観保全区域に指定しました。

菅生沼の大きさは、南北に約5.5km、東西に0.2～0.5kmです。江川、飯沼川、東仁連川から沼に流れ込んだ水は、細長い沼を経て利根川へと流れていきます。沼に整備された遊歩道からは、春は桜、夏は涼風、秋から冬(10月下旬～3月中旬)は、300羽を越えるコハクチョウが飛来する姿を眺めることで、年間を通じて豊かな散策の時間を楽しむことができます。

菅生沼は、コハクチョウの餌となる豊富な水生植物が自生しており、厳しい冬を越せる全国でも数少ない場所として知られています。暖かい春に近付くと、菅生沼で冬を越したコハクチョウは、ユーラシア大陸の北極海沿岸にある繁殖地へと帰っていきます。

菅生沼の東岸には、「一言主神社」や「水海道あすなるの里」、西岸には「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」があり、沼の散策と併せて周辺の観光も楽しむことができます。また、菅生沼周辺に点在する7つの神社やお寺を巡る「菅生沼七福神めぐり」は、毎年1月1～7日が新年特別巡拝期間となっており、各所で参拝者を温かく迎えてくれます。

この冬、ご家族・ご友人とともに、水面に浮かぶコハクチョウを愛でながら、菅生沼とその周辺を訪れてみてはいかがでしょうか。

(筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ)



◆場所：茨城県坂東市内

アクセス：

【車】常磐自動車道谷和原ICより20分

【バス】東武野田線愛宕駅から茨急バス辺田三叉路バス停より徒歩25分

・関東鉄道常総線水海道駅から関鉄バス

馬洗橋バス停より徒歩10分

・つくばエクスプレス守谷駅西口から

関鉄バス辺田三差路バス停より徒歩25分